

MPC-1200

MPC-1200 はバッテリー・バックアップ・メモリ、RTC を搭載し、RS-232(RS-485)、I/O 制御、USB メモリ、4 軸パルス 発生機能を装備。単体で装置制御を完結させることができます。また、他の CPU ボードと同様バス挿入システム拡張も可能です。

■仕様詳細

プログラムエリア : 430kbyte

点データ : 20000 ポイント (バッテリーバックアップ)

USB : USB メモリ リード・ライト用

7SEG : 1 桁 状態表示、ユーザープログラム設定可

シリアルポート : ユーザ用 2CH (CH2 は RS-485 にも対応)

*RS 通信の電源は内部から絶縁されています。

IN : 16 点 (許容漏電流 1mA 以下)

OUT : 16 点 (100mA/ポート)

パルス発生 : 4 軸、MAX 4Mpps S 字加減速可、原点復帰入力 は IN ポートと兼用。

* 補間機能はありません。

* パルス発生の電源は内部から絶縁されています。

簡易 AD : 10bit の簡易 AD, 4CH 使用可

電源 : DC24V(100mA)

サイズ : 135mm × 100mm (厚さ 12.5mm 以内)

■搭載 IC

CPU : R5F70835AN80FTV(SH2, 80Mhz)

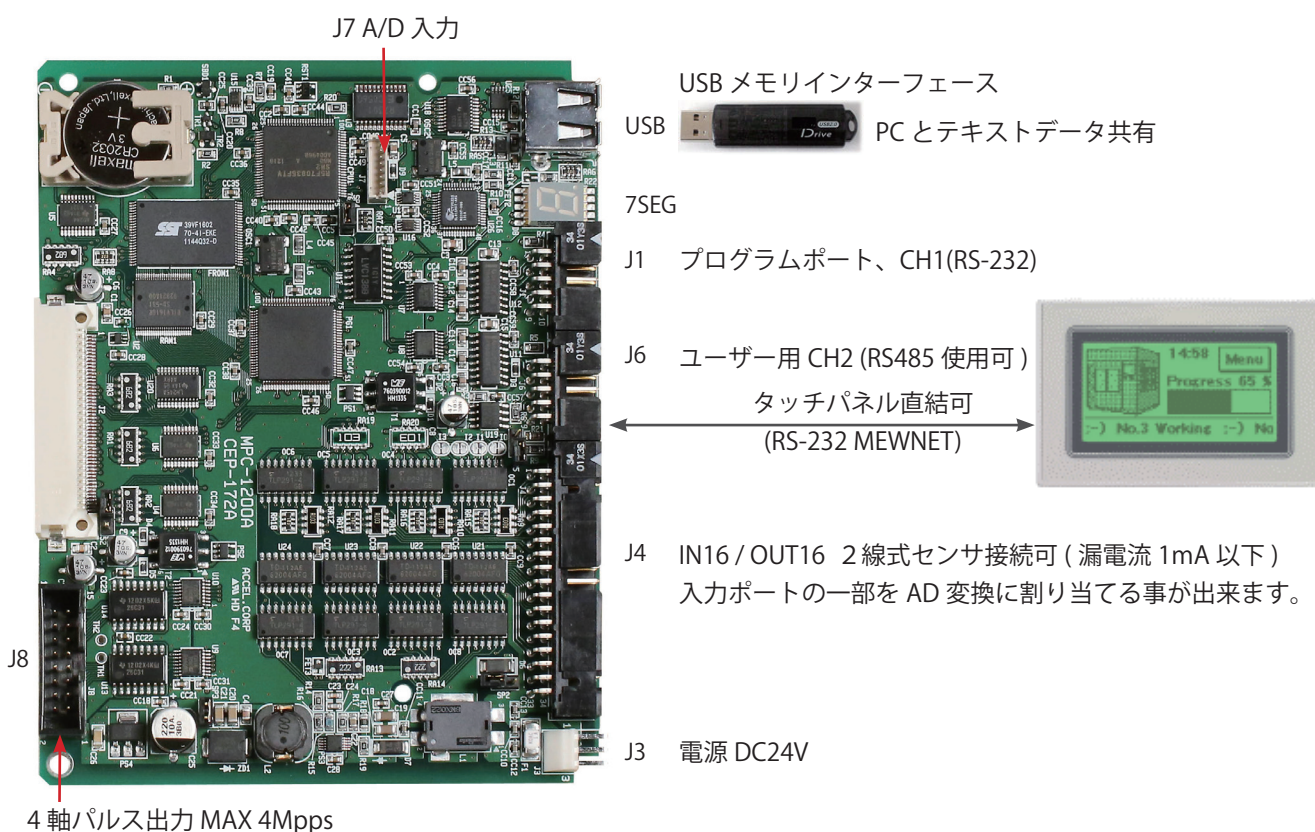
ROM : 2Mbyte Flash

RAM : 2Mbyte バッテリバックアップ

RTC : RTC-7301 カレンダー IC

PG-IC : PCD4641

USB : SL811HST-AXC



ピン配置とボード寸法

■ RS-232

J1

1	SG
2	TXD
3	RXD
4	GND
5	MAN
6	(P5)
7	SG
8	TXD1
9	RXD1
10	FG

J6

1	FG
2	TXD2
3	RXD2
4	RTS2
5	RS485B
6	RS485A
7	SG
8	NC
9	NC
10	(+5V)

注 1) J1, J6 シリアル通信の電源は、内部電源からアイソレートされています。

注 2) RS485 は、CH2 RS-232C と排他的に使用します。

RS485 使用時は、SP5(ターミネーション)を必要に応じてショートしてください。

■ I/O

J4

1	SW(192)	AD0	2	SW(193)	AD1
3	SW(194)	AD2	4	SW(195)	AD3
5	SW(196)		6	SW(197)	
7	SW(198)		8	SW(199)	
9	SW(200)	ORGX	10	SW(201)	ORGY
11	SW(202)	ORGU	12	SW(203)	ORGZ
13	SW(204)	SDX	14	SW(205)	SDY
15	SW(206)	SDU	16	SW(207)	SDZ
17	ON 0		18	ON 1	
19	ON 2		20	ON 3	
21	ON 4		22	ON 5	
23	ON 6		24	ON 7	
25	ON 8		26	ON 9	
27	ON 10		28	ON 11	
29	ON 12		30	ON 13	
31	ON 14		32	ON 15	
33	GND		34	GND	

注 1) SW(192) ~ SW(195) は、
A/D 使用時無効です。

注 2) SW(200) ~ SW(207) は、
PG 原点復帰信号と兼用です。

■ 差動出力

J8

1	XCW	2	/XCW
3	XCCW	4	/XCCW
5	YCW	6	/YCW
7	YCCW	8	/YCCW
9	UCW	10	/UCW
11	UCCW	12	/UCCW
13	ZCW	14	/ZCW
15	ZCCW	16	/ZCCW

注 1) 差動出力ポートの電源は、内部電源からアイソレート。

注 2) TH2 は、論理出力の SG となります。

■ 簡易 A/D

J7

1	AD0 (I0)
2	AD1 (I1)
3	AD2 (I2)
4	AD3 (I3)
5	
6	DIO
7	VREF
8	AD_SG

注 1) AD0 ~ AD3 使用時は、必要に応じて I0 ~ I1 をカットします。
この時 SW(192) ~ SW(195) が無効になります。

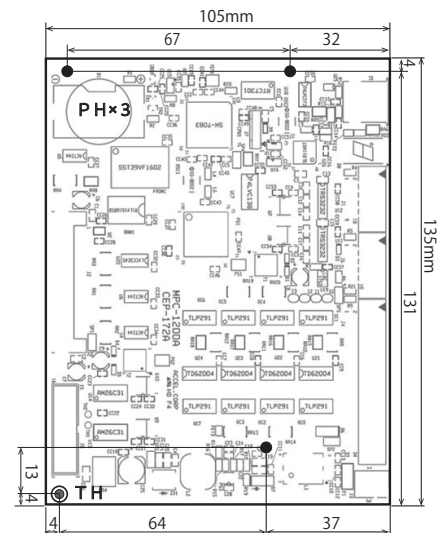
注 2) VREF、DIO の使用には十分注意が必要です。

■ 電源

J3

1	DC24V
2	GND
3	FG

■ ボード寸法



補記

■ MPC-1200 搭載の PG は、PG 17 として使用します。パワーオン後タスク 0 は、PG 17 にアサインされています。

■ 使用可能なコマンドは MPG-2541 に準拠します。MOVL、RMVL、MOV T 等の補間を含むコマンドは使用できません。

■ MPC-1200 搭載の PG は、動作中に現在位置の読み出しが可能です。

ACCEL
ACCEL Corporation

株式会社 **アクセル**

http://www.accelmpc.co.jp
E-mail sales-ac@accelmpc.co.jp

* 本カタログ製品の写真は実際の製品と多少異なる場合があります。

* 製品の仕様、外観は予告なく変更する場合があります。

* 製品の詳しい仕様等については弊社技術担当に御相談ください。